滋賀県感染症発生動向調査週報
Shiga Infection Diseases Weekly Report

令和８年 第 47 週（11/16～11/22）

令和８年 11 月 26 日発行　滋賀県感染症情報センター

【TEL】077-537-7438 【Mail】eh4505@pref.shiga.lg.jp

第 47 週の Topics

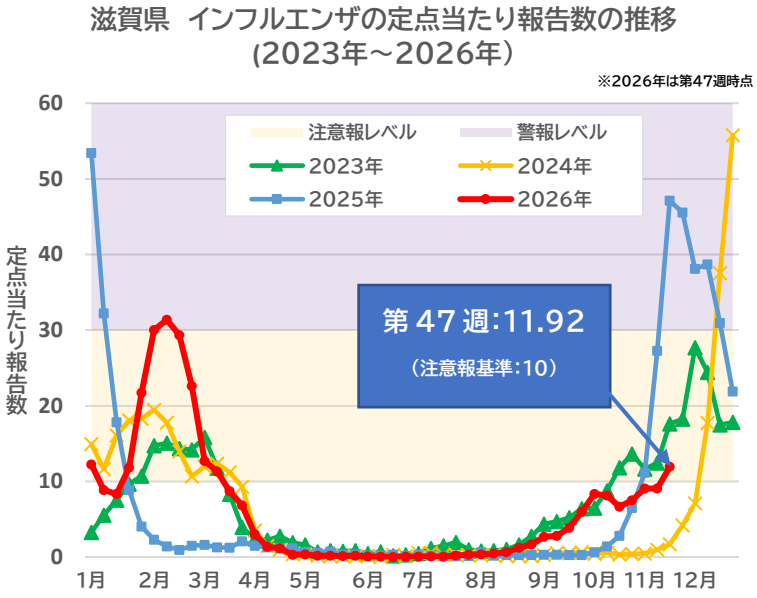
季節性インフルエンザの注意報発令

インフルエンザは、第 47 週(11/16～11/22)に「感染症発生動向調査に基づく流行の警報および注意報システムによる情報提供要領」の注意報発令基準に達したため、県内全域に**注意報**が発令されました。

■季節性インフルエンザの概要

季節性インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする感染症で、感染経路としては**飛沫感染**や**接触感染**です。また、感染してから概ね１日から３日程度後に、発熱や咳、頭痛などの症状が出現し、重症化すると肺炎や脳症を起こすこともある疾患です。

季節性インフルエンザは、例年**12 月～３月が流行シーズン**ですが、今年、**滋賀県では８月末に流行期入りの目安である定点当たり報告数「１」に達し**ました。今後、流行の長期化と更なる患者数の増加が想定されますので、以下に記載する基本的な感染対策を心がけてください。



予防のために基本的な感染対策を行いましょう



■帰宅時や食事の前には手洗いを！

流水・石鹸による手洗いは、インフルエンザウイルスを物理的に除去するために有効です。また、**アルコール製剤による手指消毒**も有効です。

■定期的な換気や咳エチケットを！

インフルエンザに限らず、感染症対策として換気が重要です。**定期的な換気**を心がけましょう。また、他者に感染を拡げないためにも、症状がある場合は、**マスク着用を含めた咳エチケット**が大切です。



■早めにワクチン接種！

インフルエンザワクチンは、感染後に発症する可能性を低減させる効果と、発症した場合の重症化防止に有効と報告されています。インフルエンザ患者数がこれから更に増加することが想定されますので、**ワクチン接種**をご検討ください。

滋賀県感染症発生動向調査週報

Shiga Infection Diseases Weekly Report

令和８年 第 47 週（11/16～11/22）

令和 8 年 11 月 26 日発行　滋賀県感染症情報センター

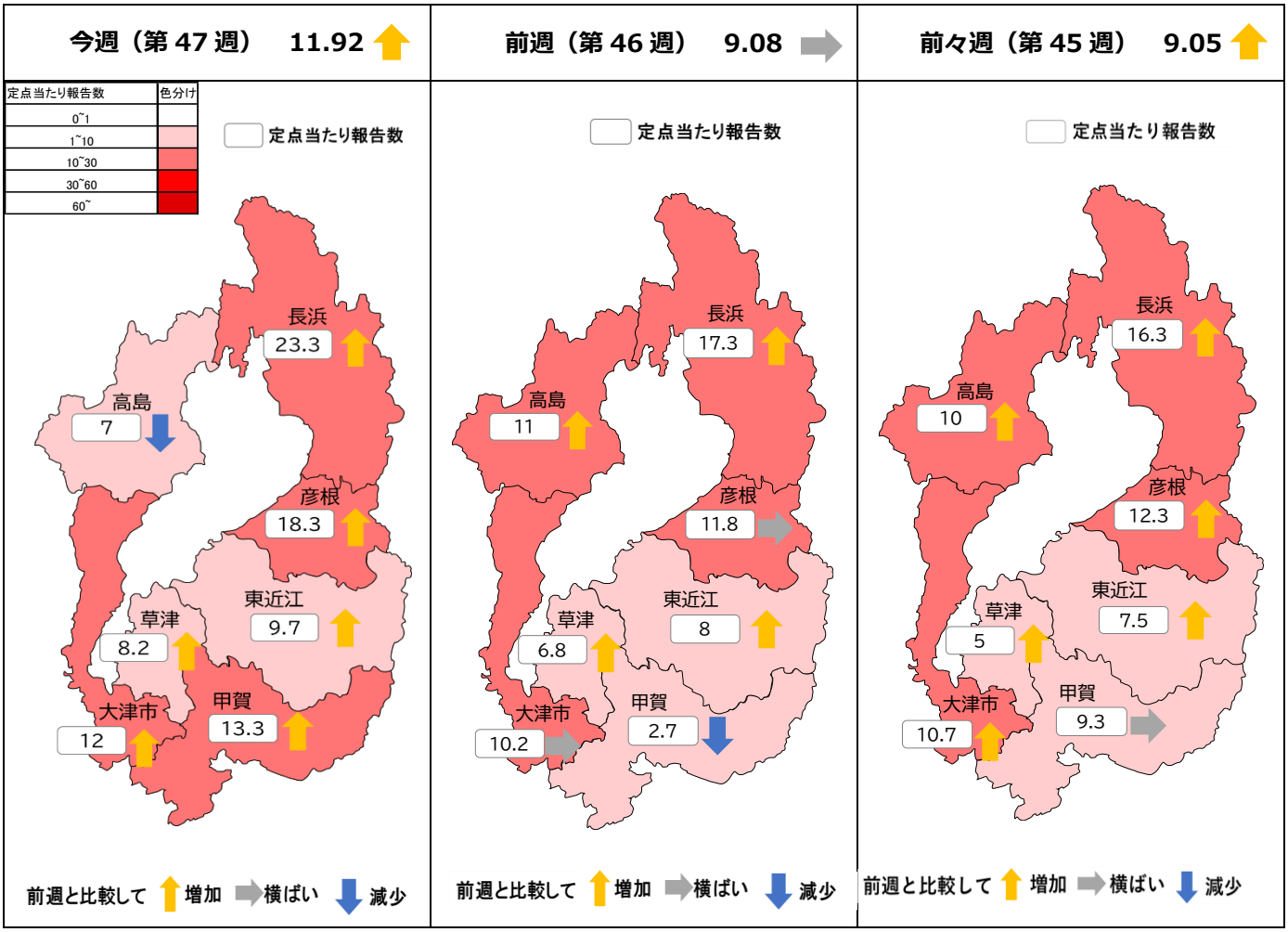
【TEL】077-537-7438　【Mail】eh4505@pref.shiga.lg.jp

1. 今週の主な動向

●インフルエンザの県内全域における定点当たり報告数が 11.92 となり、注意報発令基準である「10」を超えたため、県内全域に注意報が発令されました。詳細は今週の Topics および下記 URL をご覧ください。
https://www.pref.shiga.lg.jp/ej00/press-release/34836.html

●RS ウイルス感染症について、定点当たり報告数は前週と比較して減少しましたが、「例年より非常に多く」報告されています。特に小さなお子様は重症化しやすい疾患ですので、基本的な感染対策に加えて、よく触れるおもちゃや手すりなどはこまめに消毒するなどの対策をお願いします。RS ウイルス感染症について、詳細は下記 URL をご覧ください。
https://www.pref.shiga.lg.jp/ej00/4390.html

2. 保健所圏域別　インフルエンザの定点当たりの報告数（過去３週分）の推移（マップ）



※　「特に注意を要する感染症」とは、例年より非常に多い報告数である疾患や、季節性があり今後流行が予測される疾患、その他全国的な流行状況等から注意を要すると感染症情報センターで判断した疾患を指す

※　定点当たり報告数の色分けは、疾患ごとに、過去 10 年の県内における発生状況や、注意報および警報等の基準値等を加味して 5 段階に区分

※　図内の矢印は、前週の定点当たり報告数と比較して増減が 5%未満である場合を「横ばい」、5%以上の増加を「増加」、5%以上の減少を「減少」と定義

【 資 料 編 】

１．全数把握疾患の累積患者報告数　保健所別（令和８年および令和７年に報告のあった疾患）[i, ii]

疾患	滋賀県 例年より多い	滋賀県 例年より非常に多い	滋賀県 累積報告数	保健所別累積報告数 大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	全国（前週）	昨年累積報告数 滋賀県	全国
二類　結核			132(+1)	53	20(+1)	11	19	17	8	4	13,366	141	14,480
			9.45	15.39	5.66	7.94	8.56	11.21	5.59	9.25	10.80	10.10	11.70
三類　腸管出血性大腸菌感染症	○		78(+1)	6	32	3	15	8(+1)	13	1	3871	45	4,319
			5.59	1.74	9.05	2.16	6.76	5.27	9.08	2.31	0.36	3.22	3.49
四類　E型肝炎			0	0	0	0	0	0	0	0	551	2	585
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.36	0.14	0.47
A型肝炎	○		3	0	0	0	1	2	0	0	380	0	133
			0.21	0.00	0.00	0.00	0.45	1.32	0.00	0.00	0.36	0.00	0.11
コクシジオイデス症			0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	7
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.01
つつが虫病	○		1	0	0	1	0	0	0	0	98	0	290
			0.07	0.00	0.00	0.72	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.23
デング熱	○		2	1	1	0	0	0	0	0	143	4	164
			0.14	0.29	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.12	0.29	0.13
日本紅斑熱	○	○	4	0	1	0	2	1	0	0	637	2	674
			0.29	0.00	0.28	0.00	0.90	0.66	0.00	0.00	0.51	0.14	0.54
ライム病			0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	18
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.01
類鼻疽	○	○	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
			0.07	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
レジオネラ症	○		36	7	8	5	3	10	2	1	2559	35	2413
			2.58	2.03	2.26	3.61	1.35	6.59	1.40	2.31	2.07	2.51	1.95
レプトスピラ症	○		1	1	0	0	0	0	0	0	31	1	63
			0.07	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.07	0.05
五類　アメーバ赤痢			2	0	2	0	0	0	0	0	452	4	449
			0.14	0.00	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.37	0.29	0.36
ウイルス性肝炎	○	○	3	1	0	0	1	1	0	0	190	0	260
			0.21	0.29	0.00	0.00	0.45	0.66	0.00	0.00	0.15	0.00	0.21
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症			3	1	0	0	1	1	0	0	873	5	1197
			0.21	0.29	0.00	0.00	0.45	0.66	0.00	0.00	0.71	0.36	0.97
急性脳炎	○		3	1	1	0	0	1	0	0	514	5	630
			0.21	0.29	0.28	0.00	0.00	0.66	0.00	0.00	0.42	0.36	0.51
クリプトスポリジウム症			0	0	0	0	0	0	0	0	10	1	23
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.07	0.02
クロイツフェルト・ヤコブ病	○		3	1	2	0	0	0	0	0	153	3	184
			0.21	0.29	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.12	0.21	0.15
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○		19(+1)	3(+1)	8	0	4	3	1	0	1103	30	1382
			1.36	0.87	2.26	0.00	1.80	1.98	0.70	0.00	0.89	2.15	1.12
後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）	○		6	1	2	1	1	0	1	0	839	8	866
			0.43	0.29	0.57	0.72	0.45	0.00	0.70	0.00	0.68	0.57	0.70
侵襲性インフルエンザ菌感染症			5	1	3	0	0	1	0	0	482	11	650
			0.36	0.29	0.85	0.00	0.00	0.66	0.00	0.00	0.39	0.79	0.53
侵襲性髄膜炎菌感染症	○		1	0	1	0	0	0	0	0	53	1	84
			0.07	0.00	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.07	0.07
侵襲性肺炎球菌感染症	○		31(+2)	6	12(+2)	1	9	2	1	0	2,289	48	3,391
			2.22	1.74	3.39	0.72	4.06	1.32	0.70	0.00	1.85	3.44	2.74
水痘（入院例）	○		11	2	4	0	1	1	1	2	726	5	665
			0.79	0.58	1.13	0.00	0.45	0.66	0.70	4.62	0.59	0.00	0.54
多剤耐性緑膿菌感染症			2	2	0	0	0	0	0	0	227	-	-
			0.14	0.58	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.18	-	-
梅毒	○		82(+4)	8	39(+3)	6	14(+1)	1	14	0	9,992	75	13,530
			5.87	2.32	11.03	4.33	6.31	0.66	9.77	0.00	8.07	5.37	10.93
播種性クリプトコックス症			2	0	0	1	0	0	1	0	141	4	178
			0.14	0.00	0.00	0.72	0.00	0.00	0.70	0.00	0.11	0.29	0.14
破傷風	○	○	3	2	1	0	0	0	0	0	104	0	94
			0.21	0.58	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.08
バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1	0	1	0	0	0	0	0	67	4	92
			0.07	0.00	0.28	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.29	0.07
百日咳			94	28	31	15	9	3	0	8	5041	803	89387
			6.73	8.13	8.77	10.82	4.06	1.98	0.00	18.50	4.07	57.50	72.20
麻しん	○		2	0	0	0	0	2	0	0	582	5	265
			0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	1.32	0.00	0.00	0.47	0.36	0.21

ⅰ．今年第１週以降に診断された感染症の累積報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に「今年累積報告数」、下段に「人口 10 万人当たりの累積報告数」を示しています。なお、上段の（）内の数値は、前週からの増加数を示しています。

ⅱ．今年と過去5年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値＋２×標準偏差（SD）」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

２．定点把握疾患（五類感染症）の定点当たりの報告数（全国は前週）の値[iii]

定点区分（定点数）	疾病名	滋賀県						保健所別（vi）							全国（前週）	基準値		
		2週前	1週前	今週	警報注意報（iv）	例年より多い（v）	例年より非常に多い（v）	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		警報開始	警報終息	注意報
急性呼吸器感染症（ARI）（定点数:39）	急性呼吸器感染症（ARI）	59.87	66.49	63.41	-	-	-	47.90	69.27	71.33	61.50	49.00	140.33	16.00	71.30	-	-	-
	インフルエンザ	9.05	9.08	*11.92*	注	○		*12.00*	8.18	*13.33*	9.67	*18.25*	*23.33*	7.00	11.94	30	10	10
	新型コロナウイルス感染症	0.56	0.26	0.54	-		-	0.80	0.55	1.33	0.17	0	0.67	0	0.78	-	-	-
小児科（定点数:23）	RSウイルス感染症	2.17	1.83	1.13	-	○	○	0.50	1.00	1.50	1.25	3.00	1.50	0	1.13	-	-	-
	咽頭結膜熱	0.04	0.04	0.22				0	0.50	0	0.50	0	0	0	0.23	3	1	-
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.52	1.09	1.13				0.33	0.17	3.00	2.00	0	4.00	1.00	1.63	8	4	-
	感染性胃腸炎	1.78	1.61	1.87				0.33	1.33	2.50	1.75	4.50	6.00	0	3.56	20	12	-
	水痘	0.43	0.13	0.30		○		0	0.67	0	0.25	0	*1.00*	0	0.23	2	1	1
	手足口病	0	0.09	0.04				0	0	0	0.25	0	0	0	0.44	5	2	-
	伝染性紅斑（リンゴ病）	0.04	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.01	2	1	-
	突発性発しん	0.09	0.09	0.30	-	○		0.17	0.50	1.00	0	0	0.50	0	0.25	-	-	-
	ヘルパンギーナ	0.52	0.57	0.26		○		0.17	0.33	0	0.25	0.50	0.50	0	0.47	6	2	-
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.04	0.04	0				0	0	0	0	0	0	0	0.03	6	2	3
眼科（定点数:9）	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1	-
	流行性角結膜炎	0.11	0	0.11		○	○	0	0	0	0	1.00	0	0	0.46	8	4	-
基幹（定点数:7）	細菌性髄膜炎	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.01	-	-	-
	無菌性髄膜炎	0.29	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.06	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	0.43	0.43	0.43	-	○		0	0	0	3.00	0	0	0	0.59	-	-	-
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.01	-	-	-
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.01	-	-	-
	インフルエンザ入院	2.43	3.43	3.43	-	○	○	6.00	4.00	2.00	4.00	0	5.00	3.00	2.78	-	-	-
	COVID-19入院	0.14	0.29	1.00	-		-	0	2.00	4.00	0	0	1.00	0	0.41	-	-	-

iii．定点把握疾患：人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点（医療機関）で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。

iv．定点当たり報告数が「警報基準値」に達した時に警報（「警」）を発令します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」に達した場合に注意報（「注」）を発令します。
警報・注意報のない疾患については、「－」と標記しています。

v．今週の値が過去5年の同時期（全数把握疾患は同時期の累積報告数）の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値＋２×標準偏差（SD）」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記（定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計 15 週の平均を利用）。
新型コロナウイルス感染症は、過去5年のデータがないため、昨年の同週より多い場合に「例年より多い」に「○」を標記します。標準偏差を計算できないことから「例年より非常に多い」は、「-」を標記します。
急性呼吸器感染症（ARI）は、過去5年のデータがなく、昨年のデータもないため、「例年より多い」および「例年より非常に多い」は、「-」を標記します。

vi．*赤字斜字*：警報開始基準値以上、*紫字斜字*：注意報基準値以上

３-1．定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

「－」：報告なし

急性呼吸器感染症（ARI）定点（39医療機関）	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
インフルエンザ	465	5	4	18	27	20	27	25	25	27	22	16	68	31	12	28	27	21	15	17	30
大津市保健所	120	3	2	4	3	5	5	6	5	3	6	4	17	16	4	7	7	4	7	8	4
草津保健所	90	－	－	3	4	3	2	1	2	3	6	3	12	5	5	13	7	10	3	3	5
甲賀保健所	40	－	－	1	3	1	1	2	1	6	4	－	5	3	2	2	4	2	2	－	1
東近江保健所	58	2	1	1	5	2	5	8	6	4	3	1	7	－	－	2	2	－	1	2	6
彦根保健所	73	－	－	3	7	1	6	2	7	5	3	7	15	3	－	2	4	1	－	2	5
長浜保健所	70	－	1	6	5	8	8	5	4	6	－	1	11	2	－	－	2	4	2	2	3
高島保健所	14	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	1	2	1	2	1	－	－	－	6

急性呼吸器感染症（ARI）定点（39医療機関）	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
新型コロナウイルス感染症	21	－	－	－	3	－	1	－	－	－	－	－	－	1	－	3	2	1	1	4	5
大津市保健所	8	－	－	－	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	2	2	1	1	－	－
草津保健所	6	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	1	－	－	－	2	1
甲賀保健所	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	3
東近江保健所	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
彦根保健所	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
長浜保健所	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1
高島保健所	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

急性呼吸器感染症（ARI）定点（39医療機関）	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～
急性呼吸器感染症（ARI）	2473	128	750	470	234	86	76	126	137	104	83	110	169
大津市保健所	479	18	123	80	47	29	24	25	34	22	22	27	28
草津保健所	762	40	217	131	65	30	29	78	54	50	23	21	24
甲賀保健所	214	11	65	58	16	8	5	6	13	8	6	10	8
東近江保健所	369	22	132	58	31	2	9	12	14	10	14	27	38
彦根保健所	196	5	60	48	28	10	1	2	13	4	4	8	13
長浜保健所	421	32	150	90	43	6	6	2	7	9	13	15	48
高島保健所	32	0	3	5	4	1	2	1	2	1	1	2	10

３-2. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

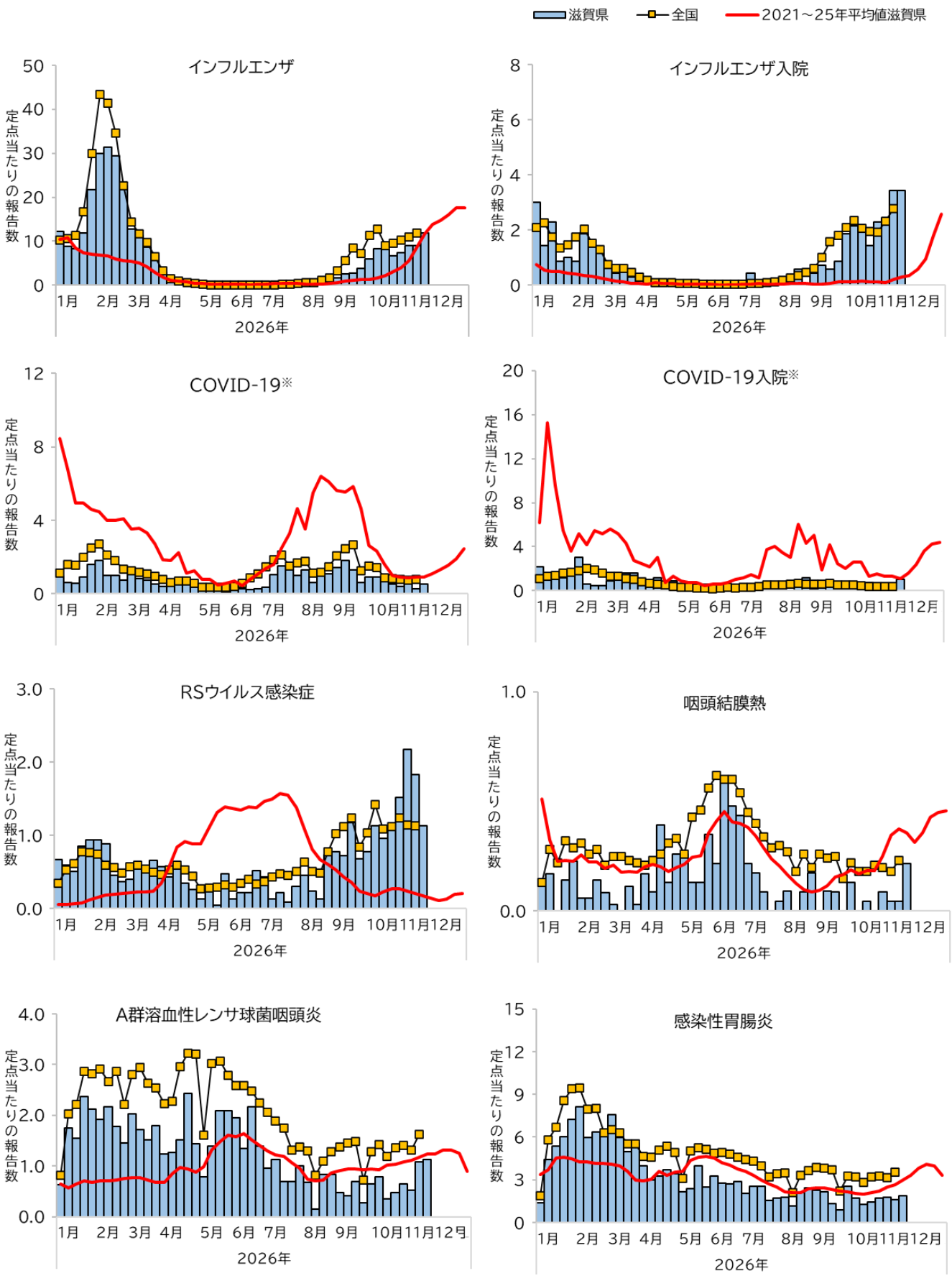
「−」: 報告なし

小児科定点（23医療機関）	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	26	2	1	11	6	3	3	−	−	−	−	−	−	−	−
咽頭結膜熱	5	−	−	−	−	1	−	−	1	−	−	−	3	−	−
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	26	−	−	−	1	1	1	3	1	4	6	−	9	−	−
感染性胃腸炎	43	−	2	9	4	8	1	3	3	1	3	1	5	1	2
水痘	7	−	1	−	−	1	3	−	1	−	−	−	1	−	−
手足口病	1	−	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
伝染性紅斑（リンゴ病）	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
突発性発しん	7	−	−	5	1	−	1	−	−	−	−	−	−	−	−
ヘルパンギーナ	6	−	−	1	1	1	1	1	−	−	−	−	1	−	−
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−

眼科定点（9医療機関）	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
急性出血性結膜炎	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
流行性角結膜炎	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	−	−	−	−	−

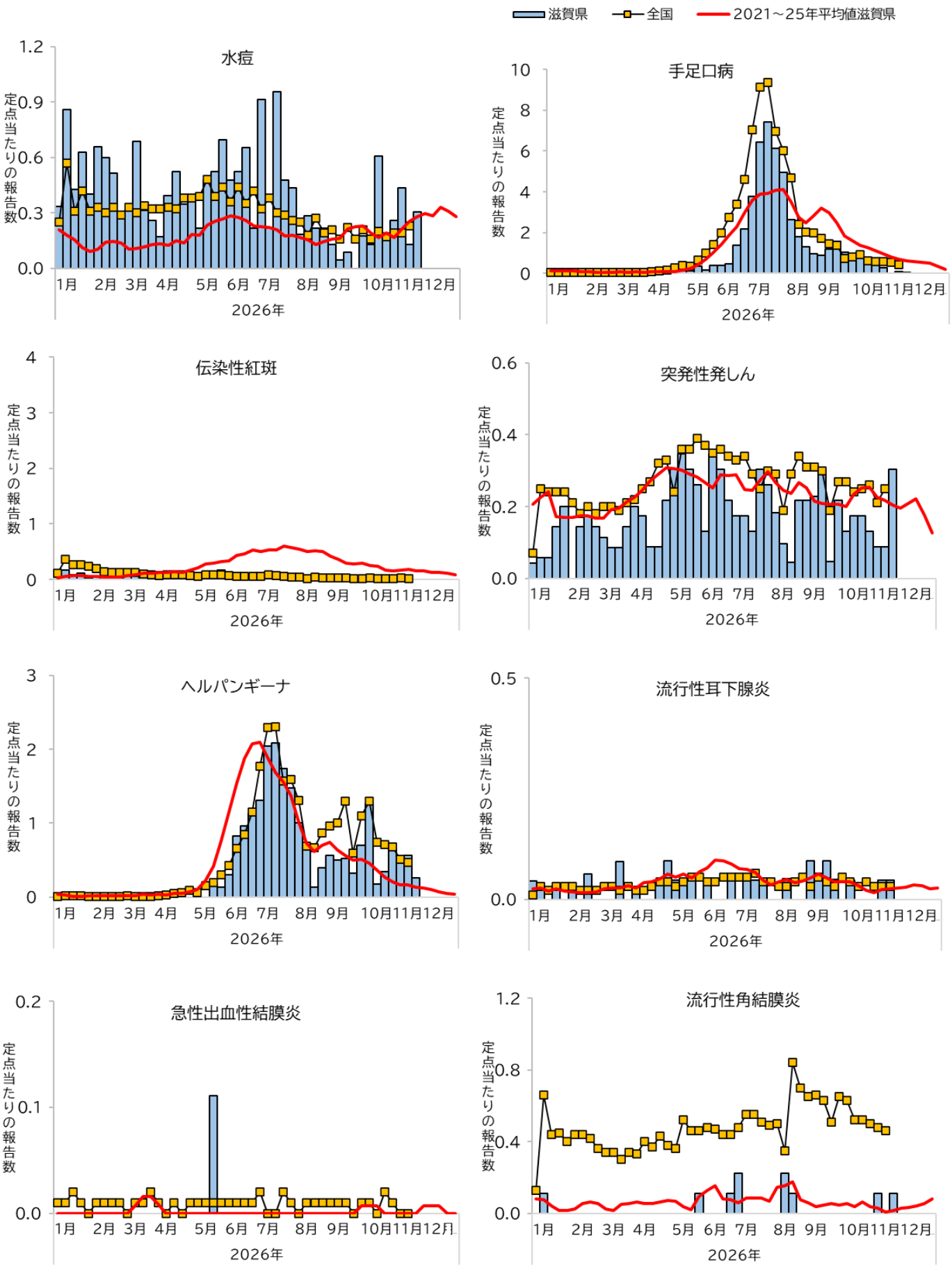
基幹定点（7医療機関）	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳～
細菌性髄膜炎	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
無菌性髄膜炎	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
マイコプラズマ肺炎	3	−	2	1	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
インフルエンザ入院	24	−	2	3	2	−	−	1	1	−	1	−	−	−	1	−	13
新型コロナウイルス感染症入院	7	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	7

４-1．定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）

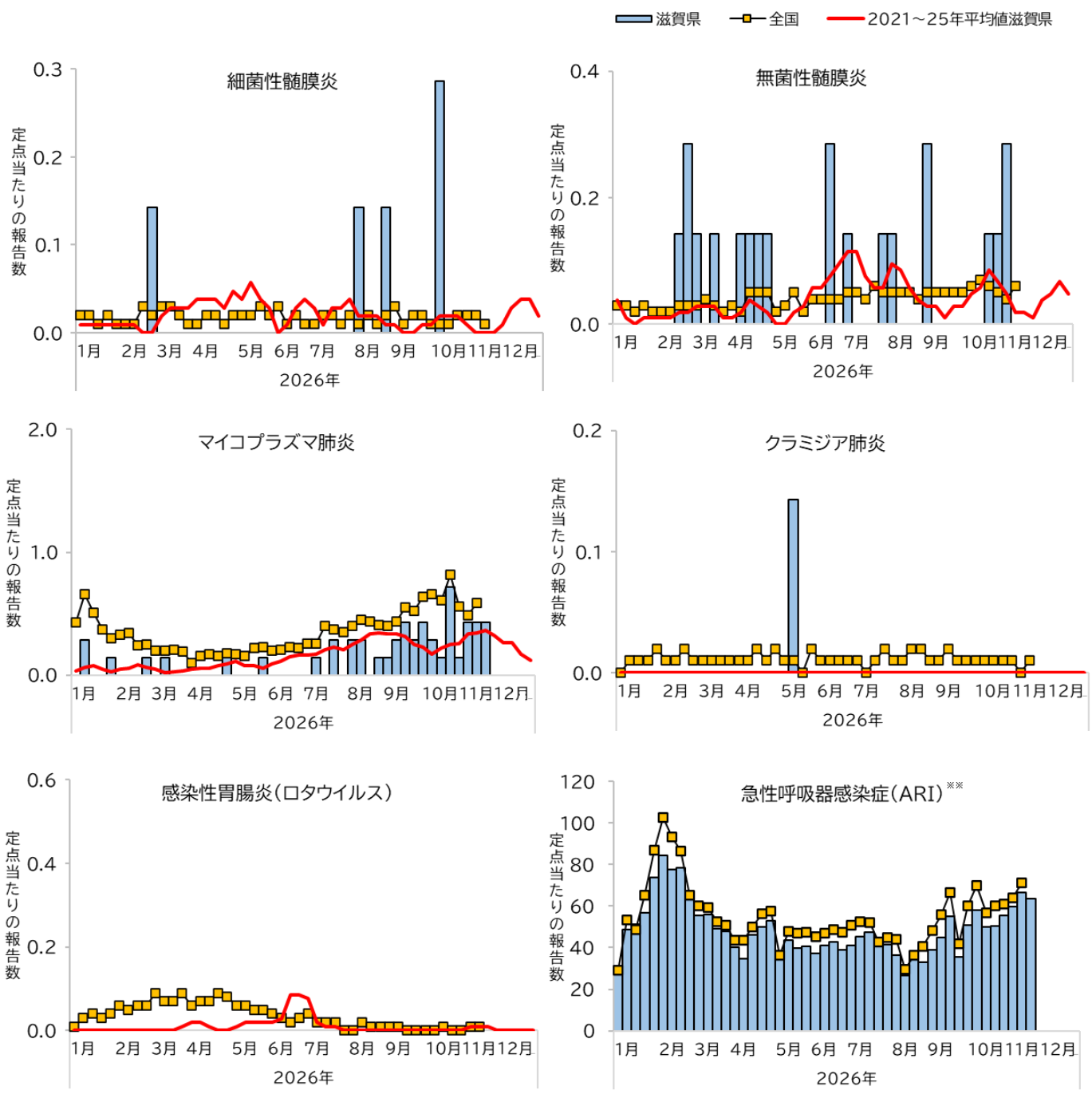


※COVID-19 は、過去5年分のデータがないため、『2021 年～25 年平均値滋賀県』の折れ線グラフは『2025 年』の値を掲載しています。

４-２．定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）



4-3. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）



※※急性呼吸器感染症（ARI）は 2025 年第 15 週から報告が始まったため、過去 5 年のデータ（折れ線グラフ）はありません。

５．病原体検出情報

(1) 病原体定点検出情報（検出された病原体からピックアップしてお知らせしています。詳細は月報・病原体情報に掲載しています。）

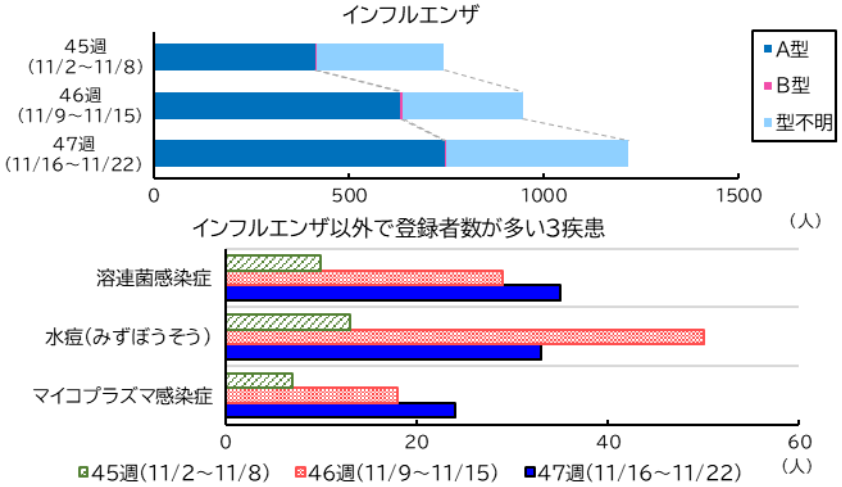
・第 44 週～第 46 週採取の検体から SARS-CoV-2 が検出されています。（COVID19、上気道炎）
・第 42 週、第 44 週採取の検体からコクサッキーウイルス A10 型が検出されています。（上気道炎、下気道炎）
・第 42 週採取の検体からエンテロウイルス D68 型が検出されています。（下気道炎）

(2) 定点以外の病原体検出情報（衛生科学センター等で検査した病原体に関する情報）

特にありません。

６．今週の学校等欠席者・感染症情報システム（保育園サーベイランス含む）概況（滋賀県）

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報システム(https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php)へ毎日入力いただいています。
入力いただいたデータを集計して掲載しています。



７．参考情報

【tableau public】県内の全数把握疾患および定点把握疾患の報告状況について、詳細を公表しています。
https://public.tableau.com/app/profile/.49137914/vizzes

【全国情報】

『感染症発生動向調査　週報（IDWR）』 https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html
『病原体検出情報（IASR）』 https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/index.html
『インフルエンザ様疾患発生報告（学校欠席者数）』 https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/jp/inful/school/flulike.html

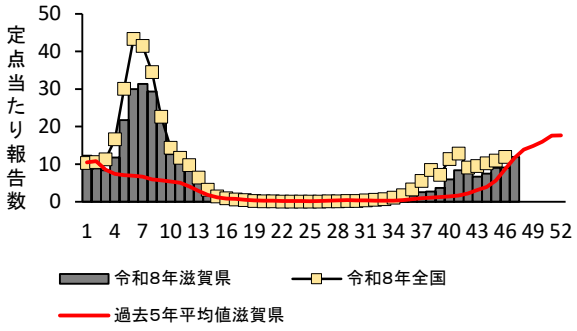
【届出対象疾患・届出基準】

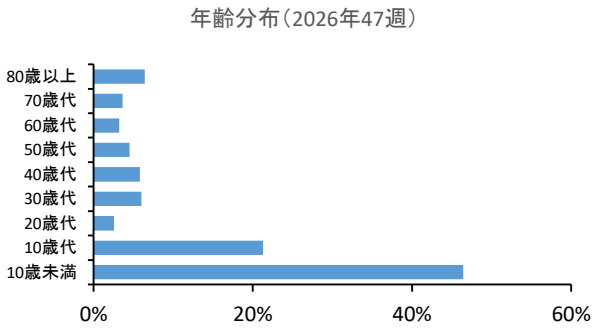
『感染症法に基づく医師の届出のお願い』
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

- 滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。
- 本週報は、発行日時点の集計を掲載しており、遅れての報告や訂正などで集計が変動する可能性があります。最新版をご確認ください。
- 本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。
  滋賀県感染症情報センターHP：https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/

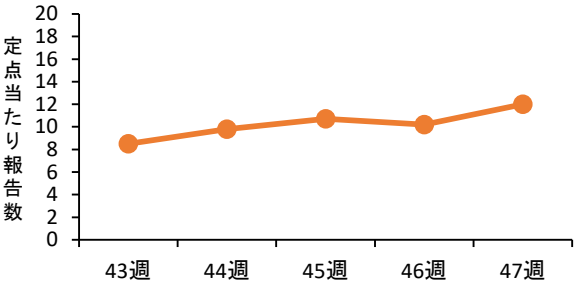


滋賀県　インフルエンザ感染動向　令和８年第47週

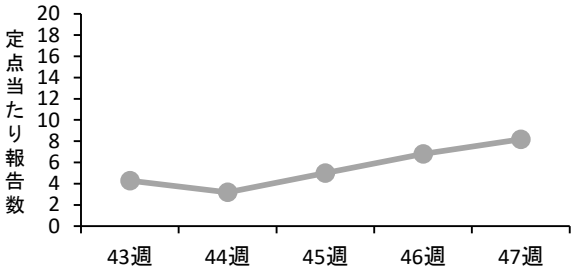




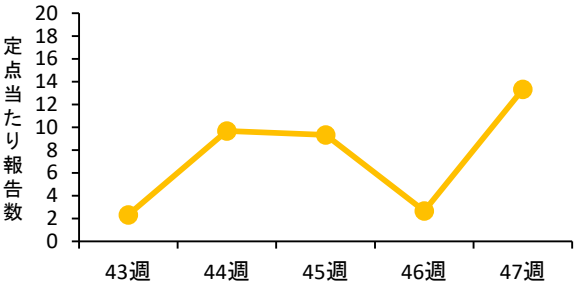
大津市



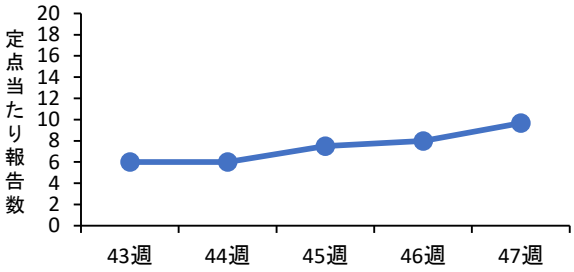
草津



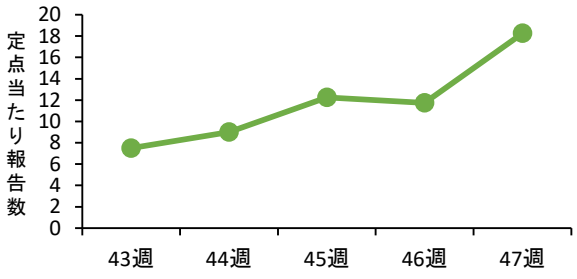
甲賀



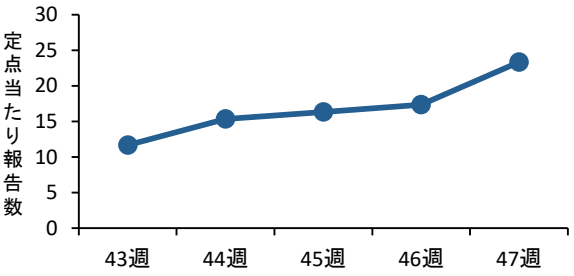
東近江



彦根



長浜



高島

